

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第204号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成22年9月6日（月） 15時20分ごろ	
発生場所	愛知県木曾川河口沖 名古屋港高潮防波堤中央堤西灯台から真方位265°3,100m付近 (概位 北緯35°00.4′ 東経136°46.1′)	
事故等調査の経過	平成22年10月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報 死傷者等 損傷	
	モーターボート ^{しょうぼう} 昭宝丸、0.9トン 243-38463愛知、個人所有 船長、二級小型船舶操縦士 なし 船外機濡損及び船首部クレーン損壊	
事故等の経過	本船は、船長が友人2人を乗せ、はぜ釣りの目的で、木曾川河口沖の釣り場に着いたが、波高が高いので引き返そうとして右旋回中、平成22年9月6日15時20分ごろ、船首が南方に向いたとき、船首部に波が打ち込むとともに、右舷側に傾斜して転覆した。 船長及び同乗者は、転覆する前に海に飛び込み、転覆した本船につかまっていたところ、付近を航行中のモーターボートに救助された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 4～5 海象：潮汐 上げ潮の末期、波高 約0.5m以上、海面水温 約30℃	
その他の事項	海上保安庁刊行の本州南・東岸水路誌によれば、伊勢湾北岸は、中央部に木曾川及び揖斐川が注ぎ、河口付近は水深10m以下の砂州が距岸1～2.5海里まで張り出して遠浅となっており、台風や低気圧などにより南風が強吹した場合、名古屋港の防波堤の外で三角波が立つので、小型船は注意を要する海域である。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、南東風の状況下、木曾川河口沖に到着したものの、波が高いことから帰航しようとして右旋回中、波が発生していた河口沖の水域に進入していたことから、船首部に波が打ち込むとともに、右舷側に傾斜して転覆したものと考えられる。 本事故当時、木曾川河口付近に三角波が発生していた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、南東風の状況下、木曾川河口沖に到着したものの波が高いことから帰航しようとして右旋回中、波が発生していた河口沖の水域に進入していたため、船首部に波が打ち込むとともに、右舷側に傾斜し	

	て転覆したことにより発生したものと考えられる。
--	-------------------------